

# 法師温泉 長寿館

Houshi Onsen Choujukan  
(群馬県みなかみ町)



2019年冬ドラマとしてテレビ東京で放送された「さすらい温泉 遠藤憲一」。俳優の引退を表明した遠藤憲一が、臨時雇いの「凄腕男仲居」として全国の温泉宿で「活躍」するというドラマだ。今回紹介する法師温泉は、このドラマの舞台の一つとなった温泉宿である。また、映画「テルマエ・ロマエ」のロケ場所としても使用されており、温泉ファンにとって一度は訪れたい温泉である。

法師温泉は、関越・月夜野インターから三国街道（R17）を北上し、途中で左に折れてさらに北上すると到達する。アプローチ道は幅が小さく、勾配も急な場所があるので、冬に訪れるのはかなり大変と思われる。つまり、法師温泉は秘湯である。

法師温泉の建物は明治時代の築造であり、歴史は100年以上。中に入るとロビーには高い場所に神棚が2つあり、鹿の首のはく製、巨大達磨、骨董級の壁掛古時計、切株の座卓、さらには奥に骨董級のレジスターらしきものもある。

前置きが長くなったが、法師温泉の風呂を紹介する。風呂は3つあり、時間を決めて、男性用、女性用、混浴が切り替わっていく。

まずは長寿乃湯（カルシウム・ナトリウム-硫酸塩泉）。法師温泉の中では一番小さい浴室だ。脱衣室には脱いだ物を入れる籠が6個あるが、ロッカーはない。浴室の椅子、洗面器、床、壁、湯船、すべてが木でできている。見上げると、巨大な丸太の梁が縦横に掛かっている。洗い場は2か所しかなく、シャン

プー、ボディークリーム、リンス、固形石鹸は具備されている。浴槽の底には石が敷き詰められているので、適度に足裏が刺激される。浴槽の定員は6~8人、湯温は適温だ。

次に、法師温泉の最大の名物、法師乃湯（カルシウム・ナトリウム-硫酸塩泉）だ。法師乃湯は一部時間帯を除き混浴だが、脱衣室は男性用、女性用にわかれている。脱衣室には脱いだ物を入れる籠が12個あるが、伝統的には浴室内に多数ある棚に脱いだ物を入れる。浴室には洗い場はなく、浴槽が4個ある。それぞれの浴槽が2つに分かれているので、8つの浴槽があるように見える。浴槽によって湯温（適温）が異なるわけではないようなので、好きな場所に入ればよい。法師乃湯の最大の特徴は窓であろう。アールドコ様式の窓を木造で表現している。明治時代にこれを作るのはかなり大変であったに違いない。

最後は玉城乃湯（カルシウム・ナトリウム-硫酸塩泉、単純温泉）。やはり木造の浴室だ。脱衣室には12個の籠があり、浴室の洗い場は6か所。内シャワーヘッドがあるのは2か所であり、残り4か所には大きなボタンがついている。このボタンを押せば、湯の注ぎ口から湯が出てくるという珍しい仕掛けだ。シャンプー、ボディークリーム、リンス、固形石鹸は具備されている。浴槽は内湯と露天風呂があるが、取材時は夏だったせいか、隔壁はすべて取り払われて内湯と露天風呂が一体化していた。浴槽の湯温はいずれも適温。法師の湯の中で、一番くつろげるのは玉城乃湯であろう。

法師温泉は、古く、不便な温泉宿かもしれないが、温泉好きには天国であった。

## DATA

名称	法師温泉 長寿館
所在地	群馬県利根郡みなかみ町永井 650
電話	0278-66-0005
営業時間	法師乃湯 10:30~20:00 混浴 20:00~22:00 女性 22:00~10:00 混浴 玉城乃湯 15:00~20:00 女性 20:00~ 7:00 男性 7:00~10:00 女性 長寿乃湯 10:30~15:00 女性 15:00~20:00 男性 20:00~ 7:00 女性 日帰り入浴 11:00~14:00 (最終受付 13:30) 利用できるのは法師乃湯(混浴)と長寿乃湯(女性)のみ
定休日	無休(日帰り入浴は水曜定休)
入浴料	宿泊者は無料、日帰り入浴は1,000円
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2021年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	赤沢スキー場